

ひばり野西高 夏服涼しく ポロシャツとハーフパンツ導入

学校法人光星学院（八戸市、法官新一理事長）は19日、八戸学院野辺地西高校（野辺地町）を移転し、来年4月に五戸町に開校する八戸学院ひばり野西高校の夏季制服として、ポロシャツとハーフパンツを導入す



八戸学院ひばり野西高校が制服として導入するポロシャツとハーフパンツ

ると発表した。同法人によると、制服のハーフパンツは県内初とみられる。また、ひばり野西の制服は、法人で統一している現在の野辺地西の制服を引き継ぐことも明らかにした。

新たな夏服は、近年の猛暑や生徒の多様なニーズに応えるため導入を決めた。ポロシャツは白色とネイビー、ハーフパンツはベージュとネイビーを用意。いずれも八戸学院のシンボルマークをワンポイントで配しており、UVカット加工で防臭機能を備えている。価格は各3800円（税抜き）で、購入は希望制。

19日は野辺地西高で発表会を開き、ひばり野西高校長予定者の山口吉彦・同法人事務局参与らが概要を説明。既存のスラックスやスカートと組み合わせることもできるといい、試着した中村瑠唯さん（3年）はさ

らさうで薄くて快適。デザインもシンプルで男女どちらも着やすい」、松井優樹さん（1年）は「動きやすいし涼しい。来年からこれを着て生活するのが楽しみ」と話した。（本田海輝）